

第5回群馬県行政改革評価・推進委員会資料

平成24年2月15日(水)

県立ぐんま昆虫の森

目 次

1	建設目的	1
2	建設経過	1
3	建設概要	1
4	組織体制	1
5	観覧料・開園時間	1
6	群馬県公共施設のあり方検討委員会の結果を受けた改善策について	
(1)	設定した目標	2
(2)	経費節減に係る取組	3
(3)	利用者増加に係る取組	6
	学校利用の促進	6
	施設のリニューアル及びフィールドの整備	8
	企画の充実	9
	地元や他団体との連携企画	10
	広報等 P R	10
7	入園者の目標及び推移	11

参考資料

参考1	ぐんま昆虫の森の施設構成	12
参考2	平成23年度 事業一覧	15
参考3	歳入・歳出予算額、決算額推移	27

1 建設目的

ぐんま昆虫の森は、広く県民を対象として、里山の自然のなかで、身近な生きものとのふれあいを通して、生き物とその生息環境の相互関係を理解し、自然環境に対する県民の理解を深めるために、フィールドの整備及び建物の建設がなされました。

- (1) 本物の昆虫に触れ、生命の大切さを学ぶ
発見、感動し想像力を高め、共感する心をはぐくむ。
- (2) 自然と環境の関わりについて実体験で学ぶ
自然と人間の生活が調和した新しい社会の創造に寄与する。
- (3) 自然のなかで能動的に昆虫を探しふれ合うことができる全く新しい体験型施設
広大なフィールドのなかで里山の魅力あふれる体験をすることができる。

2 建設経過

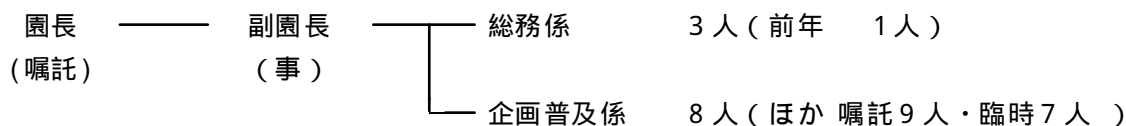
- ・平成 8年 4月 不二山整備基本構想を公表
- ・平成 9年 4月 ぐんま昆虫の森整備基本計画公表
- ・平成10年 4月 昆虫の森建設準備室を設置、用地測量や環境調査を開始
- ・平成11年 4月 ぐんま昆虫の森園長に矢島稔氏就任
- ・平成13年 5月 赤城型民家の移築完了（後に、桐生市重要文化財に指定）
- ・平成14年 6月 桑畑ゾーン、雑木林ゾーンを利用して、一部利用を開始
- ・平成16年 9月 昆虫館本館竣工
- ・平成17年 8月 ぐんま昆虫の森全面オープン

3 建設概要

- ・敷地面積 450,758㎡
- ・延床面積 6,949.2㎡（本館、別館、食草育成温室）
- ・駐車場 普通車300台 バス10台 ほかに思いやり駐車場10台
- ・総事業費 7,166,000千円

4 組織体制（平成23年度）

総人員 29人（職員12、嘱託10、臨時7）



(参考) ボランティア登録者数 97人、友の会会員数 181組(577人)

5 観覧料・開園時間

(1) 観覧料

- 一般 400円(団体20人以上320円)
- 大・高生 200円(団体20人以上160円)
- 中学生以下 無料 他に、障害者手帳保持者や学校行事等の減免制度あり

(2) 開園時間

- 9時30分～17時 (4月～10月)
- 9時30分～16時30分(11月～3月)

6 群馬県公共施設のあり方検討委員会の検討結果を受けた改善策について

【はじめに】

平成20年10月に同委員会で取りまとめられた「公共施設のあり方に関する中間報告書」において、昆虫の森は「直ちに廃止すべきとまでは言えないが、運営内容等の徹底した見直しと利用者増加の積極的な努力が強く求められる施設である。」とされました。

これを受け、平成21年度以降の事業展開にあたり、県立の教育施設として管理運営費の徹底した効率化と、また学校教育の補完施設として学校利用に重点を置いた施設運営を推進するとともに、県民に親しまれる施設を目指して、経費削減と来園者増加を両立させた、平成24年度を最終年度とする「4ヶ年の改善計画」を作成しました。

これまで計画を着実に遂行し、映像トンネルを廃止して新たな昆虫展示「昆虫のすばらしい世界」を昆虫観察館内に改装し、魅力あふれる展示空間を確保するとともに、効率的な園運営により燃料・光熱水費のほか、徹底した経費削減を行ってきました。

それに加えて、職員のアイデアを十分に生かし、「ホタル観賞会」や「カブトムシ飼育講座」等の目玉プログラムを企画・実施しました。平成22年度のホタル観賞会には、千人もの来園者が訪れたこともありました。

また、小学校を中心とした児童・生徒の利用については、県内の6割の小学校が園を利用するなど、着実に学校利用のすそ野を広げてきました。こうした利用者増加策が大きな実績となり、平成21年度には、117,265人の来園者を数え、過去最高となりました。

【来年度以降の園運営について】

4ヶ年計画最終年度にあたる平成24年度については、維持費が多額にかかり、「中間報告」で見直しを求められた昆虫ふれあい温室（旧生態温室）については、加温を停止し、入園者への影響について検証します。その代わりに、別館にある食草育成温室にてチョウを飼育・展示し、イベント時等期日を定めて昆虫ふれあい温室にて放すことにします。

経費削減の内訳は、温室の加温停止による大幅な燃料・光熱水費の削減、森林整備工事やフィールド維持管理工事、常駐警備の廃止のほか、展示経費、広報経費、印刷物や管理経費等を引き続き削減します。

一方、効率的な園運営に努め、通年開園、体験プログラムの通年実施やそれに伴う入園料の徴収を維持します。これは、平成21年度に地元関係者の意見を集約した「ぐんま昆虫の森利用促進委員会」の提言も参考にしています。

昆虫の森の魅力を失うことなく、里山体験などそのポテンシャルを十分に生かし、最低限の経費により、効率的な県民サービスの提供に努め、地域に根ざした園運営を行っていきます。

なお、平成24年度予算の執行については、議会承認後となります。

以下は、4ヶ年の改善計画実現及びさらなるサービス向上のための取組です。

(1) 設定した目標

【方針】

経費の大幅削減と来園者の増加を共に達成し、来園者一人あたりの経費を2,000円以下にする。

学校利用と家族利用の促進を基本に、子どもたちが昆虫に触れ、自然体験のできる学習施設として積極的に教育を補完する役割を果たす。

生態温室の存廃、里山（フィールド）利用等の答申事項については、来園者や県民の声を聞くなど検証を行った上で、一定の方向を得る。

昆虫の森の魅力を失うことなく、最低限の人員により効率的なサービスを提供し、地域に根ざした園運営を行っていく。

【目標期間】 平成21年度～24年度（4年間）

【数値目標】

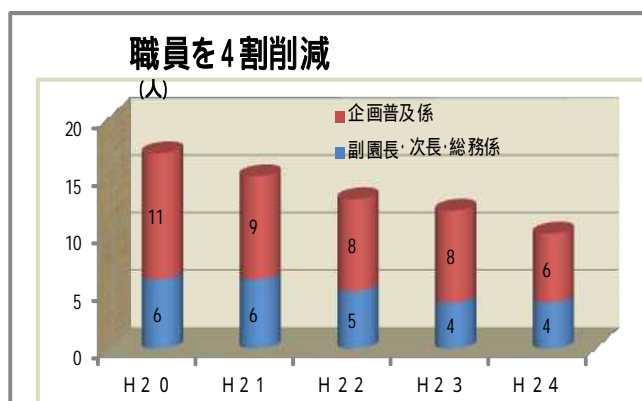
	H20	H24
経費総額	420,095千円	189,810千円
職員数	17人体制	10人体制
人件費	151,817千円	89,307千円
事業費	268,278千円	100,503千円
入場者数	88,212人	97,500人
来園者1人当たり経費（参考）	4,604円	2,000円以下

（2）経費節減に係る取組

職員体制の見直し

4ヶ年計画どおり職員を4割削減する（17人 10人）

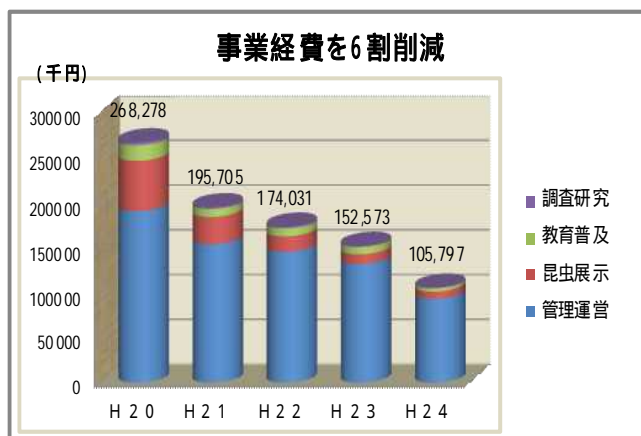
- ア 昆虫・チョウ飼育の方法を見直し、飼育種類・頭数を減らして、飼育職員を削減する（3人）。
- イ 広報業務を各事業担当者に分散するなどして、事務職員を削減する（2人）。
- ウ 削減困難な職種の職員（土木系技師、指導主事）については、嘱託職員に置き換える（2人）。



	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
職員数	17人	15人	13人	12人	10人
人件費	151,817千円	133,957千円	116,097千円	107,167千円	89,307千円

施設運営に係る経費削減

概ね4ヶ年計画どおり事業費を6割削減する(268,278千円 105,797千円)



(単位：千円)

	20年度	21年度	22年度	22年度	24年度
事業費	268,278	195,705	174,031	152,573	105,797

昆虫ふれあい温室に係る経費を含む

ア 管理運営

(ア) 嘱託職員・臨時職員(削減額9,689千円)

- ・ 体験プログラムを行う嘱託職員(昆虫・蝶飼育、クラフト、自然観察、フィールド管理)を臨時職員化する。
- ・ 臨時職員についても閑散期に概ね半減する。

(イ) 案内・発券業務委託(同10,440千円)

南ゲートと館内の数カ所に複数の人員を配置していたが、案内所の箇所を減らし、業務を縮小した。更にH24年度以降は、閑散期平日の総合案内を廃止し、入園料徴収継続のため、ゲートの自動券売機を導入する。

(ウ) 警備業務委託(同16,643千円)

園内に複数の警備員を配置してパトロールしていたが、警備員の数を削減して警備時間を短縮した。更にH24年度以降はこれを廃止し、職員が対応する。機械警備は継続する。

(エ) 清掃業務委託(同5,540千円)

委託する清掃回数を減らして経費を削減する。

(オ) フィールド管理等(同19,282千円)

- ・ NPO新里昆虫研究会への委託事業(畑の作付け管理や里山体験プログラム実施)の縮小・見直しを行う。
- ・ 雑木林の下草刈り回数や範囲を縮小するほか、松食い虫防除を中止する。

(カ) 光熱水費・燃料費(同19,548千円)

設備の稼働の調節と照明器具の節電を徹底し、燃料費(灯油代)・電気料を節減する。

イ 昆虫ふれあい温室(旧生態温室)等(同15,269千円)

- ・ 昆虫ふれあい温室(旧生態温室)及び食草育成温室の関連費が管理運営費の大きな割合を占めるが、来年度は、計画通り昆虫ふれあい温室の加温を停止して、別館の「食草育成温室」にてチョウの飼育・展示を継続し、イベント等期日を定めて昆虫ふれあい温室でも放すなど、今後の生態温室の活用を検討していく。

- ・ 昆虫ふれあい温室については、利用者アンケート結果では、学校利用の83.6%、一般利用者の72.5%が「面白かった」と回答。温室の加温は停止するものの、引き続き施設の有効活用を図り、今後もチョウ等の昆虫にふれあえる温室（空間）として機能させたい。

【昆虫ふれあい温室等の経費】

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
光熱水費・燃料費	8,119	8,452	8,000	6,237	3,564
植物・機械管理費	9,658	7,813	7,814	7,418	3,894
昆虫飼育費	6,140	2,027	2,100	1,810	1,190
計	23,917	18,292	17,914	15,465	8,648

(単位：千円)

ウ 昆虫展示

(ア) 映像トンネルの廃止 (同6,375千円)

「映像トンネル」を廃止し、昆虫について学習ができ、世界の昆虫にも出会える「昆虫のすばらしい世界」としてリニューアルした。

(イ) 展示経費の削減 (同14,449千円)

- ・ 映像ホールで流す映像ソフトについて、季節ごとの作品制作が終了したので、以後の新規製作を中止した。
- ・ 企画展・季節展について、例年行う季節展は極力簡素化し、夏場の企画展については魅力のある内容を維持する。

(ウ) 情報システムの経費削減 (同19,003千円)

- ・ 管理していたホームページ用のサーバーを廃止し、レンタルサーバーにした。
- ・ ホームページを市販の汎用ソフトを使った安価なものにリニューアルした。

エ 教育普及 (同13,443千円)

- ・ 体験プログラムの簡素化を図り、閑散期は体験プログラムを一部中止するが、通年開園に向けて魅力的なプログラムを開発していく。
- ・ ポスターやイベントチラシ、広報誌などの作成を減らして印刷経費を削減し、手間や経費のかからない広報媒体等を活用する。

オ 調査研究 (同2,763千円)

- ・ 季刊誌等の発行費を削減するが、密度の濃い内容となるよう調査研究に努める。

(3) 利用者増加に係る取組

学校利用の促進

【昆虫の森の学校教育補完施設としての課題と役割】

幼稚園、小学校や中学校では、新しい指導要領に沿って自然体験のカリキュラムを取り入れていくと思われるが、教諭自身が多忙な上にその経験やノウハウを得る機会が少ないことから、今後、自然体験の場を求める学校現場からの声が高まると思われ、その要望に応えていく。

ア 「自然に親しむ」体験の提供

イ 家庭教育において不足しがちな「豊かな自然の中で本物とふれあう経験」をする場の提供

ウ 校外学習での自然体験活動が子どもたち共通の礎となり、授業が豊かに重ねられていく先行経験の場を提供

エ 危機管理、トイレ、雨天対応等、学校の授業で利用しやすい自然体験活動の場を提供

オ 学習したことのフォローアップや学校授業の発展の場、事後の啓発や生涯学習の場の提供

これら学校教育に求められる自然体験活動等の授業の補完、深化、発展、さらに先行経験・共通体験作りに欠かせない施設として貢献していくことが昆虫の森の役割と考える。

指定管理者制度の導入について

ぐんま昆虫の森は、社会教育施設であり、学校教育の補完施設でもある。学校利用の受け入れに際しては、学校と当園指導主事との間で事前準備を十分行い、当日は昆虫専門員、プログラム担当の嘱託・臨時職員をはじめ、多数のボランティア、NPO等地域との協働を最大限に活用して対応に当たっている。校外学習の教育効果を高めるといふ面から見ると、指定管理者導入はメリットが少ないと考える。

【学校が自然体験の場を求める背景】

平成19年10月25日 文部科学省（全国学力・学習状況調査より）

「地域の歴史や自然を知るとともに、地域に親しみ、愛着を持つためには、歴史や自然に直接ふれる、かかわる体験の場が必要である。」（調査では小学3年生の約4分の1の児童が「魚や貝や昆虫を捕まえたことがないか、あまり捕まえたことがない」と回答。）

平成19年11月7日 中央教育審議会

・「豊かな心や健やかな体の育成には、学校、家庭、地域の役割分担と連携が重要であり、自然体験の減少などが生じる中で、体験活動については、学校教育の中でそのきっかけ作りを行い、家庭や地域との新たな連携へとつなげていく必要がある。」

・「体験活動は自然等との直接的なかわりという点できわめて重要であり学校教育における体験活動の機会を確保し充実を図ることが求められている。」

平成20年3月28日 文部科学省

自然体験活動の充実が盛り込まれた「新しい学習指導要領」が平成20年3月に告示され、幼稚園では平成21年度から、小学校では23年度全面実施に向けたスケジュールが示された。

【利用ガイダンスの充実】

各指導主事や社会教育主事が集まる機会を捉えてはPRを行い、その情報を各学校へ持ち帰ることで利用促進を図るものである。

<H23年4月>

ア 各市町村教育委員会に所属する指導主事・社会教育主事が集まる第一回指導主事会議において利用に係るPRを行った。(約100名参加)

イ 自然体験活動にかかわる教育等部会「理科部会」「環境教育部会」「総合的な学習部会」「生活・幼児教育部会」において、教育現場では実施が困難な「豊かな自然の中で本物とふれあう体験」ができる「学校教育の補完施設」としてPRを行った。

<同5月>

ア 群馬県小学校理科部会、群馬県中学校理科部会においてPRを行った。(参加者約110名)

<同7、8月>

ア 秋の遠足・校外学習に向けた学校利用説明会を、昨年の4回から6回に増やした。いずれの回も定員に達し、参加校全校が利用した。(69校、167名)

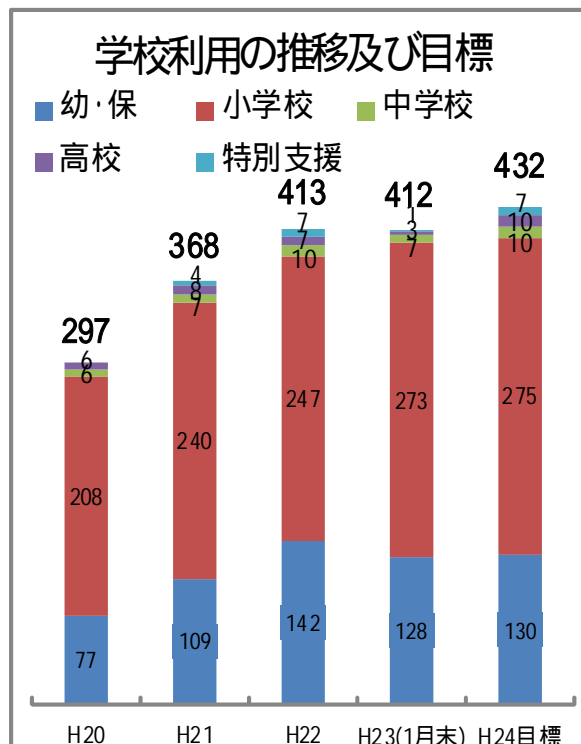
イ 東京都板橋区の移動教室(高原学校)を下見する区内小学校長が、榛名湖半合宿中に生涯学習課担当職員が施設利用の提案をしたところ、11月22日校長会移動教室担当で昆虫の森を視察し、来年度の区内小学校での利用が検討されている。

<同11月>

ア 県内幼稚園・保育所の先生方に向けた「幼稚園・保育所利用説明会」を新たに2回開催した。(27所園、43名)

【学校利用状況】

	H20	H21	H22	H23(1月末)	H24目標
幼・保	77	109	142	128	130
小学校	208	240	247	273	275
中学校	6	7	10	7	10
高等学校	6	8	7	3	10
特別支援学校	0	4	7	1	7
合計	297	368	413	412	432



【県内小学校利用状況】

	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H23年度はH24年 1月末現在 (複数利用を含む)
小学校利用数(校)	211	212	227	
児童数(人)	15,605	15,021	15,785	

【県外小学校利用状況】

	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H23年度はH24年 1月末現在
小学校利用数(校)	29	35	46	
児童数(人)	2,418	2,806	3,605	

【H23年度市町村別小学校利用状況】

H23年12月末現在

市郡(校数)	利用校数(%)	市郡(校数)	利用校数(%)	市郡(校数)	利用校数(%)
前橋市(52)	36(69%)	渋川市(17)	10(59%)	甘楽郡(9)	5(56%)
高崎市(58)	30(52%)	藤岡市(11)	9(82%)	吾妻郡(21)	1(5%)
桐生市(18)	18(100%)	富岡市(11)	8(73%)	利根郡(14)	4(29%)
伊勢崎市(24)	19(79%)	安中市(13)	3(23%)	佐波郡(5)	5(100%)
太田市(26)	22(85%)	みどり市(9)	6(67%)	邑楽郡(16)	11(69%)
沼田市(13)	9(69%)	北群馬郡(4)	3(75%)		
館林市(11)	8(73%)	多野郡(2)	0(0%)	県内計(334)	207(62%)

(校数は複数利用を除く)

過去最高の学校利用日・・・平成23年10月21日(金)

学校利用数19校、バス40台、児童・引率1,492人、児童グループ274班

昼食時 石階段579人、トンボ池原っぱ34人、バッタの原っぱ345人、林間広場105人

雨天時予約22校、1,867人、雨天時の昼食場所は石階段のみとなり最高1,300人が限界。

活動範囲が施設内のみとなり、危機管理、空調、換気等の課題

施設のリニューアル及びフィールドの整備

- ア 昆虫観察館2階「映像トンネル」を平成21年3月で廃止し、昆虫の起源や種類等が学べる学習機能を持ち、また世界の珍しい昆虫を生きのまま展示する「昆虫のすばらしい世界」をオープンした。世界のカブトムシやクワガタムシを展示しているコーナーは好評である。
- イ 同3月、温室内の段差解消機を廃止し、通路の階段をスロープ化したことで、バリアフリー化が充実して、車椅子やベビーカーでも快適な観察が可能となった。
- ウ 平成22年度には、農具類の資材置き場として使っていたかやぶき民家の2階を整理し、養蚕農家に関わる暮らしや農具の展示コーナーにした。「ウマ屋」には馬の模型を配置し、また、庭には井戸の模型を配置する予定で、小学校3～4年生で学ぶ昔の暮らしの学習コーナーとして利用されている。
- エ 平成22年3月から4月にかけて、友の会会員の方や地元有志の方がボランティアでホタル沢を整備していただいたため、ホタルの生息環境がより充実した。5月1日に通水式を行った。その後も、引き続き整備のボランティア活動をしていただいている。
- オ 平成22年度に、桐生東ライオンズクラブから桜の苗30本の寄贈があり「さくら山」を整備し、またその周辺を勢多農林高等学校(緑地土木科)の生徒により測量をした結果を踏まえ「さくら山遊歩道」を整備し、出口ルートが便利になった。同会からはH23年度にも20本の寄贈があった。また、H24年度において桐生市より60～70本の桜苗を寄贈したいとの申し出をいただいている。
- カ 桐生西ロータリークラブからは、平成16年からコナラやヤマツツジの苗木などを毎年寄贈いただいております。里山の整備にご協力いただいております。
- キ ホタルの生息環境である水辺の木道については、ホタル観賞会等における木道安全維持のため、路盤安定処理による改修を行っている。
- ク 平成23年3月、地元の方から蠟梅100本の寄贈があった。桜と合わせて花の名所になることを期待して整備をした。

ケ これらの施設のリニューアルや園内整備により、「中間報告」で指摘された入園料のあり方についても、通年開園して入園料を徴収でき、里山の魅力あふれる昆虫の森の園運営を行っていく見通しがついた。

企画の充実

ア 開園当初よりホタルが飛び交う環境を整備してきたところ、開園して4年目となる平成21年には観賞会が開けるほどになったため、定員制の観察会の他に急遽夜間開放して試行的にホタル観賞会を開催した。22年度、23年度は、有料制にして延べ4日、3日間の観賞会を開催し、ホタルの発生時期は梅雨時でもあるので中止することも度々あった。

21年度約1,200人、22年度約2,890人、23年度1,318人(うち、1日は雨天のため中止)

イ 平成21年度まで事前予約制で丁寧な解説をしていた夜間観察会(有料)を、H22年度から予約なしの観察会として2回開催した。

21年度約500人、22年度917人、23年度262人(小雨開催及び雨天中止)

ウ 里山らしく四季折々のイベントを開催するよう努めた。

- ・ ゴールデンウィーク特別イベント開催(クイズラリー・スタンプラリー・たんけんラリー参加者に昆虫カードプレゼント、ハチミツ搾り体験、カブトムシ飼育講座等特別プログラム開催)

ゴールデンウィーク期間中の定休日(月)を臨時開園

	H20年	H21年	H22年	H23年
4月29日～5月6日入園者数(人)	5,684	6,322	7,875	7,187

- ・ 夏休み期間中の特別プログラム開催(クイズラリー・スタンプラリー・たんけんラリー参加者に昆虫カードプレゼント、カブトムシ飼育講座、クワガタ検定等特別プログラム開催)

夏休み期間中の定休日(月)臨時開園

	H20年	H21年	H22年	H23年
8月12日～8月16日入園者数(人)	4,751	7,806	6,311	6,871

- ・ H21年9月シルバーウィーク・スペシャルイベント(3日間、約5,200人)
- ・ H22年1月ニューイヤー・イベント(3日、約800人)

エ カブトムシ飼育講座開催

H21年	H22年	H23年	
7/25・26、8/1・2・8・9	7/24・25・31、8/1・7・8	5/4・5/8	7/31・8/7・13
549人	601人	267人	412人

オ クワガタ飼育講座

H22年	H23年
11/7・14	10/29・30・11/6
171人	279人

カ クワガタ検定開催 5～3級、2級、1級（夏休み期間 H22年4,668人、H23年3,263人参加）
キ 熱気球体験開催～自然観察体験「身近な自然から地球環境へのつながりを実感しよう！」～
・平成22年度に計5回開催

ク 上毛電鉄デコトレイン「昆虫の森号」運行
（啓蟄の日から、H23年3/6～5/9、H24年3/5～5/10（予定））

ケ オリジナル・マスコットキャラクター「クワガタくんまちゃん」
を県企画部企画課と連携して作製し、平成23年のゴールデンウィークからイベント時に随時活用している。



クワガタくんまちゃん

地元や他団体との連携企画

ア ぐんまふれあいフェスティバル、連合群馬桐生地協主催

- ・ H21年5/17 2,238人、H22年5/16 3,141人、H23年5/15 3,869人参加

イ 宝探しイベント「トレジャーハント」、両毛広域都市圏総合整備推進協議会主催

- ・ H21年9月～10月約5,000人参加

ウ 石段広場コンサート 上州八木節演奏会、オカリナ演奏会、桐生南高校、フォルクローレ

エ クラシックカーフェスティバル中継点

- ・ H21年11月1日、H22年11/7、クラシックカーフェスティバルin桐生実行委員会

オ けん玉大会

- ・ H21年11月29日約30人参加、NPO法人日本けん玉協会

カ わたらせ渓谷鉄道との連携（H21年20人、H22年20人）

キ 赤城自然塾との教育環境イベント連携（H20～23年）

- ・ エコプロダクツ2011～東京ビックサイト～、H23年12月15日開催

ク 群馬DC（H22年ブレDC赤城温泉との連携、H23年赤城温泉との連携）

ケ 社団法人自動車連携（JAF）会員優待協定 H22年11月～

コ NECO東日本passカード加入者優待協定 H22年11月～

サ NTT東日本光フレッツ加入者「光GunmaHappyタウン加入者優待協定」 H23年11月～

シ 温水プール「カリビアンビーチ」との共同PR企画の実施 H20、21年度

広報等PR（主な実施状況）

ア 緑化推進課連携

- ・ 第65回群馬県植樹祭展示ブース参加 5/14（土）パネル展示、チラシ配布、クラフト体験

イ ぐんまちゃん家イベント（東京東銀座、群馬県のアンテナショップにおけるPR）

- ・ H21年4/20～4/21 395人、7/27～7/28 239人、9/16～9/17 298人、
- ・ H22年7/6～7/7 220人 ・ H23年7/12～7/13 199人

ウ 観光物産課連携

- ・ 北関東交流フェア参加 H22.11.20（土）～21（日）大洗リゾート前芝生広場でワークショップ
- ・ 群馬県人会の招きによる、浦安市でのカブトムシ飼育出前講座
H21年親子40組、H22年親子40組、H23年親子40組参加

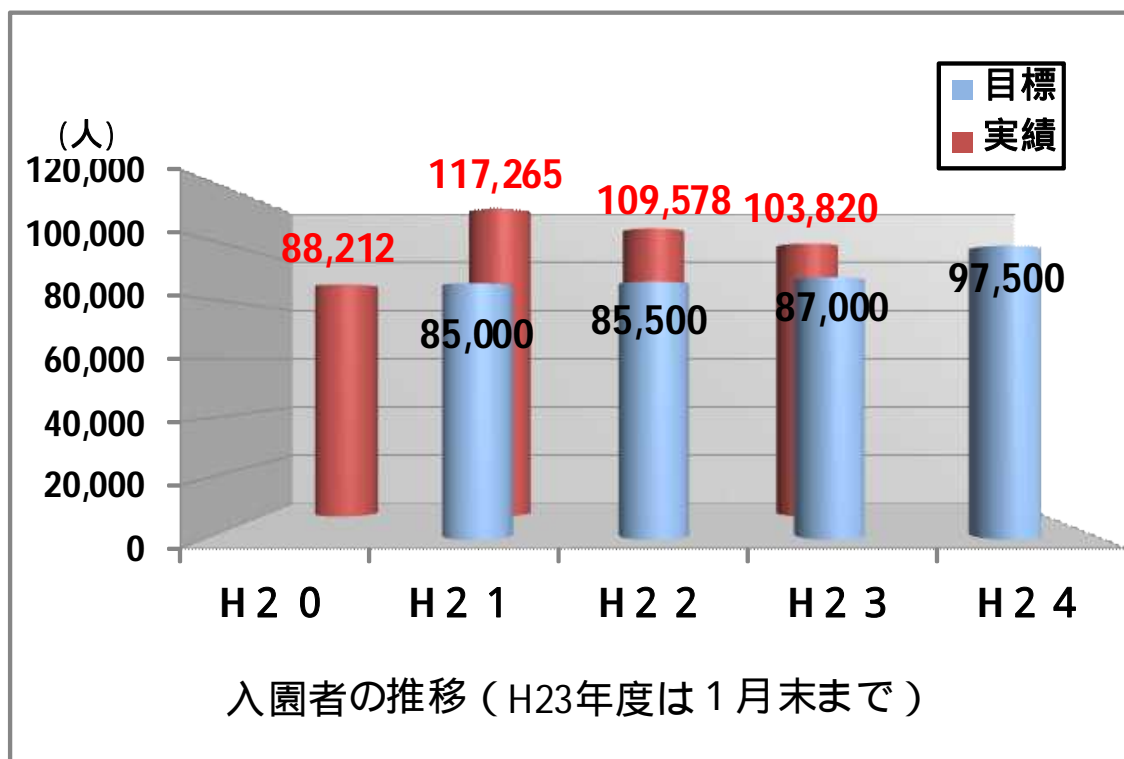
エ 報道提供資料6件、取材協力20件（平成23年度現在）

オ るるぶ情報版群馬 '11年8月1日発行「緑の遊び場」掲載、「こどもとあそぼ夏休み2011」掲載、るるぶDO!「自然観察入門」（仮題）'12年3月発売予定

- カ NHKラジオ(夏休み子ども科学電話相談、園長出演7回)
- キ まちなかキャンパス「ドクトル・ムッシーのたのしい虫のおはなし」参加者：20名、
場所：広瀬川美術館(前橋市千代田町)
- ク TBSテレビ「飛び出せ！科学くん」H22年7月24日(土)19:00～20:00「『虫の目』カメラで
昆虫映画を作ろう！！」
- ケ CS放送CSファミリー劇場「ネ申(ねもうす)テレビシーズン5」(AKB48冠番組)
「目指せ昆虫マスター！！」H22年10月10・17日(日)18:00～18:30
- コ Eテレ「ふしぎがいっぱい『冬の生き物たち』」H23年1月29日(土)14:00～15:00
- サ 「しまじろうへソカ」テレビ東京系列6局ネット「はっけん たんけん だいすき！
しまじろう」H23年4月5日7:30～8:00
- シ テレビ朝日「仮面ライダーオーズ」H23年5月15日(日)8:00～8:30「親友と利用とその関係」
- ス BS日テレ「キズナのチカラ」ドライビングマップミコナー 平成23年6月17日(日)放送
- セ NHK総合テレビ「爆問学問+」H23年8月4日(木) 22:55～23:25「ムシできない虫の話」、
園長がメインゲストとして出演

7 入園者の目標及び推移(計画を上回り目標達成中)

平成23年度については、平成23年3月に発生した東日本大震災のあおりを受けたものの、入園者は順調に推移し、昨年度並みの約11万人を目標としている。



(単位:人)

	20年度	21年度	22年度	23年度(1月末)
昆虫の森入園者(人)	88,212	117,265	109,578	103,820
うち学校利用 (割合)	20,735 23.5%	24,719 21.1%	25,968 23.7%	25,945 25.0%

(参考1) ぐんま昆虫の森の施設構成

・桐生市新里町鶴ヶ谷

・敷地面積 450,758.08 m²

・主な建物

ア 昆虫観察館本館

昆虫観察館は、フィールドで楽しむために事前学習する場所です。入場ゲートから歩いて来ると、入口の3階には総合案内やジオラマ模型があります。

2階は、「昆虫とは何か？」を写真や標本、生きた昆虫の展示でわかりやすく紹介している「昆虫のすばらしい世界」、続いて「里山の昆虫たち」コーナーがあります。ワークショップフロアには、昆虫クラフト・ふれあいコーナー・昆虫ライブステージもあります。

「昆虫ふれあい温室」は、亜熱帯の環境を再現した温室で、乱舞する10種類以上のチョウと亜熱帯のバッタやカエルを見ることができます。1階は企画展示・季節展を行うギャラリーと映像ホール（定員150名）があります。

主要構造 鉄筋コンクリート造り一部鉄骨及び鉄骨鉄筋コンクリート造り、
地下2階、地上2階建て

建築面積 4,308.99 m² 延べ床面積 5,084.28 m²

昆虫ふれあい温室 1,100 m²



昆虫ふれあい温室

昆虫観察館本館と修景池

イ 昆虫観察館別館

1階は、昆虫に関する本やオリジナルグッズ、軽食を販売するミュージアムショップがあります。地下には昆虫や里山に関する図書を見たり、調べるフォローアップ学習コーナー、昆虫教室を実施する実験室があります。

主要構造 鉄筋コンクリート造り地下1階、地上1階建て

建築面積 1,070.43 m² 延べ床面積 1,328.34 m²



別館 フォローアップ学習コーナー

ウ 食草・育成温室

食草・育成温室は、昆虫ふれあい温室を飛びかっているチョウを飼育したり、チョウの幼虫の餌となる植物（食草）を栽培している場所です。見学通路は、ガラス越しにチョウの飼育状況やチョウの蛹を見ることができます。

主要構造 鉄筋コンクリート造り、鉄骨造り
建築面積 608.57 m² 延べ床面積 536.58 m²



チョウを放した様子



食草・育成温室

エ かやぶき民家

前橋市にあった建築後130年の赤城型養蚕民家を移築しましたが、平成13年8月に落雷で半焼し、県民ボランティアの協力により修復再建しました。かやぶき民家では、養蚕体験（桑くれ・まゆかき）・里山の生活体験・昔ながらの遊びや年中行事が体験できます。

主要構造 木造草葺2階建

1階面積 175.20 m² 2階面積 92.56 m²



かやぶき民家

オ フィールド(水田・広場・池)

フィールドには、人が利用するために長い年月をかけて、手を入れ管理していた「里山」が再現されています。雑木林を中心に、田んぼ、小川、沼地、草はらなどさまざまな環境が広がっています。

入園者は、無料で貸し出された虫取り網と虫めがねを使って、虫取り体験が自由にできます。ただし、虫を捕って観察した後は、後から利用する入園者のために、捕った虫を放していただくようお願いします。



棚田



観察デッキ



芝生広場

(参考2) 平成23年度 事業一覧表

県立ぐんま昆虫の森

1 学校・教育機関連携

(1) 訪問・普及活動

指導主事会議、小学校・中学校理科部会等で、利用説明を行いました。

期日	訪問・普及活動先名称	内容	人数
4.25	県第1回指導主事会議	利用紹介・普及	100人
5.20	県小学校教育研究会理科部会理事総会兼研究協議会	利用紹介・普及	50人
5.26	県中学校教育研究会理科部会理事総会兼研究部会	利用紹介・普及	60人

(2) 職場体験・実習受け入れ

県内中学校及び高等学校からの職場体験・実習を積極的に受け入れました。

期日	体験・実習校名称	学年	体験・実習内容	人数
6.14～6.16(3日間)	みどり市立大間々中学校	2年	飼育業務等	3人
10.18～10.20(3日間)	桐生市立黒保根中学校	2年	飼育業務等	2人
10.18～10.20(3日間)	桐生市立新里中学校	2年	飼育業務等	2人
10.19～10.21(3日間)	県立勢多農林高等学校	2年	飼育業務等	2人

(3) 教職員研修の受け入れ

小学校・中学校・高等学校の初任者研修、また社会教育委員研修などを受け入れました。

期日	研修名	教育連携機関名	研修内容	人数
8.3	小中学校初任者研修	総合教育センター	講義・実習	17人
9.6	高等学校初任者研修	総合教育センター	講義・実習	102人
9.7	社会教育委員研修	中部教育事務所	講義・実習	60人
11.22	小中学校初任者研修	東部教育事務所	講義・実習	105人

(4) その他協力・連携活動

その他、県及び市町村教育委員会行事を受け入れました。

期日	事業名	協力連携機関名	協力内容	人数
8.4	植物観察会	桐生市教育会理科部会	会場協力	11人
12.10	おもしろ科学教室	県立生涯学習センター少年科学館	プログラム協力	39人

(5) 園・学校団体等下見受け入れ

校外学習実施にあたっての下見を受け入れ、当日のスケジュールについて打ち合わせを行いました。(学校利用説明会での下見を含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体数	41	50	16	35	87	12	13	3	2	-	-	-	259
人数	122	130	41	86	229	25	29	15	4	-	-	-	681

2 教育普及

(1) 園・学校利用説明会

県内の小学校が校外学習で利用する場合の効果的な活用方法、学習効果について説明しました。

学校利用説明会

回 期日	第1回 7.28	第2回 7.29	第3回 8.4	第4回 8.5	第5回 8.22	第6回 8.23	第7回 1.13	合計
団体数	12	11	12	11	11	12	2	71校
人数	29	27	28	30	27	26	2	169人

幼稚園・保育所園利用説明会

回 期日	第1回 11.9	第2回 11.11	合計
団体数	16	11	27所園
人数	28	15	43人

(2) 関係機関との連携

ぐんまちゃん家、県観光物産課等と連携してPRイベントを行いました。

期日	イベント名	主催	場所	内容
7.6(水)	出前なんでも講座 「身近な昆虫について知ろう・触れてみよう」 参加者35人	群馬社会福祉専門学校	群馬社会福祉専門学校	県広報課の出前なんでも講座にメニューを提供し、注文に応じて、公民館、地域団体等に職員を派遣して講座を行いました。
7.12~7/13	ぐんま昆虫の森in銀座	ぐんま総合情報センター	東京東銀座「ぐんまちゃん家」	パネル展示、標本・カプトムシ展示、クラフト体験
7.24(1日間)	ぐんままるごと体験 キャンペーンin赤坂Sacas	群馬DC推進室	Sacas広場	パネル展示、チラシ配布、クラフト体験
7.26~8/24	サイエンスウィーク展示	生涯学習センター	生涯学習センター	パネル、標本、パンフレット展示
8.8~3.31	平成23年度オガサワラハンミョウ生息域外保全業務(群馬県内)	関東地方環境事務所	ぐんま昆虫の森	世界遺産の指定を受けた小笠原諸島の兄島に生息する国内希少野生動植物種「オガサワラハ

				ンミョウ」の生息域外保全業務を環境省関東地方環境事務所からの請負事業。
8.7(日)	夏休みカブトムシの上手な飼育講座 40組80名	セレナヴィータ 新浦安ぐんま県人会	セナヴィータ新浦安自治会館	講座、パネル展示、チラシ配布
8.10～10.3 (55日間)	ぐんま昆虫の森でいろいろな体験をしよう	ぐんま昆虫の森	県庁31階物産展示室	パネル・標本・ジオラマ・クラフト等の展示、チラシ配布
8月～12月 (延べ10日)	「ぐんまの文化めぐり子どもツアー」	県文化振興課	ぐんま昆虫の森ほか	県自然史博物館と道の駅「ららん藤岡」の施設めぐり
9.10(土)	新里老人クラブの集い 参加者100人	新里町老人クラブ	ぐんま昆虫の森	園長講話とフラダンス
9.11(日)	ミニミニ博物館	自然史博物館	ぐんま昆虫の森	アンモナイト化石のレプリカ作りと隕石や化石などの触れる収蔵資料展示
9.19(月)	ぐんまのグルメ大集合	群馬県観光物産課	伊勢崎華蔵寺公園	パネル展示、チラシ配布、クラフト体験
10.1～11.30 12.1～2.29	ググっとぐんま	群馬県観光物産課	ぐんま昆虫の森	クーポン券と引き替えにオリジナル昆虫カードプレゼント
12.1～3.31	ぐんまに泊まってあそぼう!キャンペーン	群馬県観光物産課	ぐんま昆虫の森	クーポン券と引き替えにオリジナル昆虫カードプレゼント
12.10(土)	おもしろ科学教室 39名 (大人20名、小人19名)	県生涯学習センター	ぐんま昆虫の森	「カブトムシのからだの仕組みを学び、昆虫標本をつくろう」

(3) その他連携活動

その他団体との連携活動を行いました。

期 日	イベント名	主 催	場 所	内 容
5.15(日)	ふれあいフェスティバル 3,500名	連合群馬桐生地 域協議会	ぐんま昆虫 の森	ダンス、模擬 店、大道芸
10.1(土)	まちなかキャンパス「ド クトル・ムッシーのたのし い虫のお話」 参加者20名	前橋商工会議所	広瀬川美術 館	矢島稔園長の 講演
7月1日～ 9月30日 (群馬DC関連 事業)	赤城南麓温泉旅館宿泊特典	赤城温泉観光協 同組合	ぐんま昆虫 の森	「オリジナルグッズ もらえる券」 と引き替えにオ リジナル缶バッ ジ1 個プレゼント
(H22.11.1～)	J A F 会員優待協定	(社)日本自動車 連盟	ぐんま昆虫 の森	会員カードの 提示によりオ リジナル缶バ ッチ1個プレ ゼント
11月26日(土)	いま、自然を考える「冬ご もり準備をする昆虫」観察 会 参加者29名	(社)日本自動車 連盟	ぐんま昆虫 の森	JAF会員の自然 観察会
(H22.9.1～)	E-NEXCOpass優待協定	東日本高速道路 株式会社	ぐんま昆虫 の森	E-NEXCOpassカ ードの提示に よりオリジナル 缶バッジ1個 プレゼント
11月29日 ～3月31日	光GunmaHappyタウンプロモ ーション	NTT高崎	ぐんま昆虫 の森	光GunmaHappy タウン特典利 用パスポート の提示により オリジナル缶 バッジ1個プレ ゼント

(4) 体験プログラム

観察会や工作体験など里山の自然ならではの体験プログラムを用意してお待ちしています。

名 称	内 容																																																																									
自然観察会	<p>解説員と一緒にフィールドを歩きながら、季節の昆虫や鳥、植物などいろいろなものを観察します。観察会では、季節によって変化する風景を楽しみながら、普段は見過ごしてしまうような昆虫たちの営みを知ることができます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期 日</th> <th>名 称</th> <th>定員</th> <th>時 間</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.24(日)</td> <td>春のチョウ</td> <td>30名</td> <td>10時から 12時</td> <td>春に現れるチョウの観察</td> </tr> <tr> <td>5.1(日)</td> <td>新緑の雑木林の昆虫</td> <td>30名</td> <td>10時から 12時</td> <td>新緑の雑木林とそこで見られる昆虫の観察</td> </tr> <tr> <td>5.5(日)</td> <td>ハミチツ搾り</td> <td>なし</td> <td>10時から 14時</td> <td>ミツバチの観察とハチミツの収穫体験</td> </tr> <tr> <td>5.15(日)</td> <td>虫こぶ観察会 (1) 実参加者17名</td> <td>30名</td> <td>10時から 12時</td> <td>葉にできた虫こぶの観察と虫こぶのエキスを使って字を書く実験 講師：薄葉重氏</td> </tr> <tr> <td>6.5(日)</td> <td>園外観察会・オトシブミ(1、 2)</td> <td>30名</td> <td>10時から 12時</td> <td>赤城山箕輪周辺でオトシブミ観察</td> </tr> <tr> <td>6.11(土)</td> <td>ホタル観賞会 (2、 3)</td> <td>なし</td> <td>20時から 21時</td> <td>ゲンジボタルの観賞</td> </tr> <tr> <td>6.18(土)</td> <td>ホタル観賞会 (2、 3)</td> <td>なし</td> <td>20時から 21時</td> <td>ゲンジボタルとヘイケボタルの観賞(雨天中止)</td> </tr> <tr> <td>6.25(土)</td> <td>ホタル観賞会 (2、 3)</td> <td>なし</td> <td>20時から 21時</td> <td>ヘイケボタルとゲンジボタルの観賞</td> </tr> <tr> <td>7.3(日)</td> <td>水辺の生き物</td> <td>30名</td> <td>10時から 12時</td> <td>水生昆虫など水辺で見られる生き物の観察</td> </tr> <tr> <td>7.10(日)</td> <td>アゲハを育てよう(1)</td> <td>30名</td> <td>10時から 12時</td> <td>アゲハチョウの飼い方と観察</td> </tr> <tr> <td>7.17(日)</td> <td>夏の野山の昆虫</td> <td>60名</td> <td>10時から 12時</td> <td>カブトムシなど樹液に集まる昆虫の観察</td> </tr> <tr> <td>7.23(土)</td> <td>夜の雑木林の昆虫(2、 3)</td> <td>なし</td> <td>19時30分 から21時</td> <td>夜の雑木林で見られる昆虫の観察</td> </tr> <tr> <td>7.30(土)</td> <td>セミの羽化</td> <td>30名</td> <td>19時から</td> <td>セミの羽化する様子を</td> </tr> </tbody> </table>				期 日	名 称	定員	時 間	内 容	4.24(日)	春のチョウ	30名	10時から 12時	春に現れるチョウの観察	5.1(日)	新緑の雑木林の昆虫	30名	10時から 12時	新緑の雑木林とそこで見られる昆虫の観察	5.5(日)	ハミチツ搾り	なし	10時から 14時	ミツバチの観察とハチミツの収穫体験	5.15(日)	虫こぶ観察会 (1) 実参加者17名	30名	10時から 12時	葉にできた虫こぶの観察と虫こぶのエキスを使って字を書く実験 講師：薄葉重氏	6.5(日)	園外観察会・オトシブミ(1、 2)	30名	10時から 12時	赤城山箕輪周辺でオトシブミ観察	6.11(土)	ホタル観賞会 (2、 3)	なし	20時から 21時	ゲンジボタルの観賞	6.18(土)	ホタル観賞会 (2、 3)	なし	20時から 21時	ゲンジボタルとヘイケボタルの観賞(雨天中止)	6.25(土)	ホタル観賞会 (2、 3)	なし	20時から 21時	ヘイケボタルとゲンジボタルの観賞	7.3(日)	水辺の生き物	30名	10時から 12時	水生昆虫など水辺で見られる生き物の観察	7.10(日)	アゲハを育てよう(1)	30名	10時から 12時	アゲハチョウの飼い方と観察	7.17(日)	夏の野山の昆虫	60名	10時から 12時	カブトムシなど樹液に集まる昆虫の観察	7.23(土)	夜の雑木林の昆虫(2、 3)	なし	19時30分 から21時	夜の雑木林で見られる昆虫の観察	7.30(土)	セミの羽化	30名	19時から	セミの羽化する様子を
期 日	名 称	定員	時 間	内 容																																																																						
4.24(日)	春のチョウ	30名	10時から 12時	春に現れるチョウの観察																																																																						
5.1(日)	新緑の雑木林の昆虫	30名	10時から 12時	新緑の雑木林とそこで見られる昆虫の観察																																																																						
5.5(日)	ハミチツ搾り	なし	10時から 14時	ミツバチの観察とハチミツの収穫体験																																																																						
5.15(日)	虫こぶ観察会 (1) 実参加者17名	30名	10時から 12時	葉にできた虫こぶの観察と虫こぶのエキスを使って字を書く実験 講師：薄葉重氏																																																																						
6.5(日)	園外観察会・オトシブミ(1、 2)	30名	10時から 12時	赤城山箕輪周辺でオトシブミ観察																																																																						
6.11(土)	ホタル観賞会 (2、 3)	なし	20時から 21時	ゲンジボタルの観賞																																																																						
6.18(土)	ホタル観賞会 (2、 3)	なし	20時から 21時	ゲンジボタルとヘイケボタルの観賞(雨天中止)																																																																						
6.25(土)	ホタル観賞会 (2、 3)	なし	20時から 21時	ヘイケボタルとゲンジボタルの観賞																																																																						
7.3(日)	水辺の生き物	30名	10時から 12時	水生昆虫など水辺で見られる生き物の観察																																																																						
7.10(日)	アゲハを育てよう(1)	30名	10時から 12時	アゲハチョウの飼い方と観察																																																																						
7.17(日)	夏の野山の昆虫	60名	10時から 12時	カブトムシなど樹液に集まる昆虫の観察																																																																						
7.23(土)	夜の雑木林の昆虫(2、 3)	なし	19時30分 から21時	夜の雑木林で見られる昆虫の観察																																																																						
7.30(土)	セミの羽化	30名	19時から	セミの羽化する様子を																																																																						

	(1、 2、 3)		21時	観察します。
8.6(土)	夜の雑木林の昆虫(2、 3)	なし	19時30分から21時	夜の雑木林で見られる昆虫の観察 (雨天中止)
8.14(日)	夏の野山の昆虫	60名	10時から12時	カブトムシなど樹液に集まる昆虫の観察
9.10(土)	夜の鳴く虫(2、 3)	なし	19時から20時	夜の鳴く虫の観察 ぐんま天文台と星空観望会を同時開催 (連携事業)
9.25(日)	赤トンボ	30名	10時から12時	園内で見られる赤トンボの観察
10.2(日)	クモの観察 実参加者27名	30名	10時から12時	園内で見られるクモの観察と得点を競うクモ発見ゲーム、音叉を使った実験 講師：加藤輝代子氏(東京環境工科専門大学)
10.9(日)	田んぼの昆虫	30名	10時から12時	田んぼで見られる昆虫や生き物の観察
11.13(日)	冬支度の昆虫	30名	10時から12時	冬を迎える前の昆虫の観察
12.11(日)	オオムラサキの幼虫探し	30名	10時から12時	冬越しするオオムラサキの幼虫を探す
1.15(日)	冬越しの昆虫	30名	10時から12時	朽ち木の中で冬越しする昆虫の観察
2.5(日)	冬の里山歩き	30名	10時から12時	冬の里山で見られる昆虫や植物の観察
3.25(日)	早春の花と昆虫	30名	10時から12時	早春に咲く花と昆虫の観察
	1 事前予約必要 2 有料プログラム(高校生以上200円、小中学生100円) 3 夜間観察会			
里山歩き	園内の見所をスタッフが案内します。約60分のプログラムです。定員15名。雨天時は中止になります。平日・土日祝日開催			
昆虫ふれあい温室ガイド	スタッフと昆虫ふれあい温室を観察しながら、温室内にチョウを放します。定員はありません。約20分のプログラムです。平日・土日祝日開催			
飼育室探検ツアー	カブトムシやクワガタムシなどの飼育の様子を見たり、昆虫の不思議な			

	生態に関する話を聞いたりします。定員15名で40分のプログラムです。 土日祝日開催
ミニクラフト体験	短時間で簡単にできる昆虫のおもちゃを作ります。作ってその場で遊べるものもあります。定員はありません。約20分のプログラムです。 平日・土日祝日開催
昆虫クラフト体験	木の葉や枝、まゆなどの自然素材を使って昆虫の置物などをじっくり作ります。定員20名で約60分のプログラムです。土日祝日開催
昆虫ライブステージ	昆虫クイズをはじめ、昆虫飼育スタッフによるむしの話、ケラの水泳大会、コオロギ相撲などの昆虫ショーも楽しめます。土日祝日開催
ふれあいコーナー	カブトムシやクワガタムシなどの身近な生き物を間近に観察したり、さわったりできます。土日祝日開催
ミニふれあいコーナー	カブトムシの幼虫などに直接ふれることができます。(随時)
映像シアター	里山で昆虫たちがどのように暮らしているかなどの映像です。 平日・土日祝日開催
昆虫おもしろ講座	昆虫のふしぎや秘密など、とっておきの話を矢島稔園長がします。質問した方には、オリジナル缶バッジをプレゼントします。約30分のプログラムです。日曜日開催。
昆虫教室	昆虫の標本作りや顕微鏡観察、原石から昆虫化石を割り出す体験をします。定員15名で約40分のプログラムです。土曜日開催
むしのお話	季節の昆虫に関する絵本などの読み聞かせをします。 日曜日開催
里山生活体験	かやぶき民家での「養蚕体験」、「民家のくらし体験」、「昔あそび体験」、田畑や雑木林での「里山のくらし体験」など、季節に合わせたさまざまな体験が皆様をお待ちしております。(事前申込みや材料費として体験料が必要なものもあります) 養蚕体験(かやぶき民家) 13時から15時 桑くれ、お蚕あげ、繭かき、座繰り体験など時期に応じた養蚕の作業を体験できます。 桑くれ・糸蒺 8/12(金)、13(土)、14(日)、15日(月)、9/10(土) 繭かき 8/20(土)、27(土)、9/24(土) 座繰り 4/16(土)、5/14(土)、7/16(土)、7/30(土) 民家のくらし体験(かやぶき民家) 草木染め、桑の実ジャム作り、干し柿作り、こんにゃく作り、七草がゆ作り、もちつきや、琴・尺八演奏、民話などの体験ができます。

また、季節には、こいのぼりやおひな様をかざります。季節に合わせた民家の風情を味わうことができます。

親子草木染め 8/6(土)、21(日)、9/4(日) 有料500円

桑の実ジャム作り 6/18(土)、6/19(日) 有料200円

親子干し柿作り 11/12(土) 有料500円

親子こんにゃく作り 10/29(土) 有料200円

繭玉作り・七草がゆ・あずきがゆ 1/7(土) 有料200円

もちつき体験 1/8(日) 有料200円

太鼓をたたこう 5/3(火)、9/23(金)

琴・三味線・尺八演奏会 11/3(木)

ひな祭り・琴実技体験 3/3(土)

民話を聞こう 4/9(土)、4/29(金)、5/7(土)、5/21(土)、6/11(土)、
7/9(土)、11/26(土)、1/28(土)、2/25(土)

昔あそび体験(かやぶき民家)

あやとり、こま、おはじき、お手玉、竹馬、剣玉、昆虫カルタなどの昔あそびや季節のあそび、竹馬作り、押し花作り、尺八作りなどの体験ができます。

親子竹馬作り 10/1(土)、10/8(土) 有料300円

昔あそび(竹馬、お手玉、剣玉、こま、輪投げ、ゴム鉄砲、羽子板、)
4/2(土)、4/23(土)、5/5(木)、5/8(土)、6/25(土)、7/2(土)、
7/23(土)、10/22(土)、11/5(土)、11/19(土)、12/10(土)、3/24(土)

昔あそび・かるた 1/14(土)、1/21(土)、2/11(土)

尺八作り 12/3(土) 有料200円

親子押し花作り 2/18(土)、3/10(土)

里山のくらし体験

稲作・畑作体験、落ち葉かき体験、椎茸駒打ち体験など、昔の農家が行っていた作業を体験することができます。自然と共生していた農家の知恵や苦勞を味わってください。

田植え 6/4(土)

さつま苗うえ 6/4(土)

稲刈り 10/15(土)

落ち葉掻き 2/4(土)・・・中止

しいたけ駒打ち 3/17(土) 有料300円

ラリー体験

昆虫の森のフィールドを楽しく歩くラリーゲームです。

	<p><クイズラリー></p> <p>(内容)ゲートにてクイズ用紙を配布します。クイズは全部で5つあります。別館の図書コーナーで答え合わせをすると、昆虫カードがもらえます。</p> <p><スタンプラリー></p> <p>(内容)スタートとゴールは昆虫観察館3階の総合案内です。園内11カ所にあるスタンプをさがしながら園内を歩いてみましょう。</p> <p><こん虫館たんけん></p> <p>(内容)昆虫観察館の中を回ってクイズに答える楽しいラリーゲームです。ヒントを見ながら、館内に隠されたクイズを探して答えていただきます。3つのコースから一つを選んで黄金のスタンプを目指します。</p>
--	--

(5) イベント

季節に合わせたイベントや地元団体との連携による演奏会などのイベントを行いました。

名 称	内 容
ゴールデンウィーク特別プログラム	<p>ゴールデンウィークはぐんま昆虫の森へ行こう！～Season7～</p> <p>期間：4月29日(金)～5月8日(日)</p> <p>内容： クワガタぐんまちゃん誕生！(ぐんまちゃんと記念撮影)</p> <p>クイズラリーに参加して昆虫カードをゲットしよう！</p> <p>ハチミツ搾り体験とミツバチ観察</p> <p>カブトムシを育てよう！</p> <p>ドクトルムッシーの昆虫おもしろ講座</p> <p>自然観察会、里山歩き、かやぶき民家体験、昆虫ライブステージ、昆虫クラフト、昆虫飼育室探検ツアー、昆虫教室、ミニクラフト、季節展「昆虫たちの季節がやってきた！」など</p>
夏休み特別イベント	<p>期間：7月20日(水)～8月28日(日) 期間中は無休</p> <p>特別イベント： クワガタ検定、夜の雑木林の昆虫(定員なし)、カブトムシ飼育講座、里山生活体験、昆虫ライブステージ、クラフト体験、飼育室探検ツアー、昆虫教室、ドクトルムッシーの昆虫おもしろ講座、夏の雑木林の昆虫観察</p>
クリスマス特別イベント	<p>期間：12月23日(金)～25日(日)</p> <p>行事：</p> <p>クリスマス・ぶちコンサート</p> <p>群馬医療福祉大学吹奏楽サークルによる子ども向けコンサート</p> <p>園長サンタとクワガタぐんまちゃんからのクリスマスプレゼント</p> <p>お汁粉&しいたけバター焼きサービス(かやぶき民家)</p> <p>クワガタぐんまちゃんと記念撮影</p>

	ミニ昆虫教室
クワガタ検定	<p>5級からスタート。3級までは全問正解で合格。1・2級は同一問題で全問正解で1級合格、7～9問正解で2級合格となる。</p> <p>開催期間：7月20日(水)～8月28日(日)</p> <p>受験日及び場所：</p> <p>【5級～3級】毎日、昆虫観察館3階。5級10:00～11:00、13:00～14:00 4級11:00～12:00、14:00～15:00、3級14:00～15:00</p> <p>【1級及び2級】土・日曜日、11:00～12:00 映像ホール 事前申込必要 7月23日、24日、30日、8月6日、14日、20日 21日、27日、28日</p> <p>合格者にはオリジナルカードプレゼント</p> <p>5級合格者：「コクワガタ」 4級合格者：「ノコギリクワガタ」 3級合格者：「ヒラタクワガタ」 2級合格者：「ミヤマクワガタ」&2級合格認定証 1級合格者：「オオクワガタ」&1級合格認定証&オリジナルピンバッチ</p>
石段広場イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第7回 5/1(土) 桐生アリコスタジオ こどもフラダンス ・ 第8回 5/14(土) 上武大学吹奏楽部ファミリーコンサート ・ 第9回 10/10(月) 上州八木節保存会(桐生市) ・ 第10回 10/28(金) ムシカ・アンディーナ アンデス民謡演奏 ・ 第11回 11/6(日) フォルクローレバンド「ワイルル」公演 アンデス民謡演奏
県民の日イベント (入園無料)	<p>10月28日の県民の日に行うイベントです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひょうたん絵付け 有料100円 ・ さつまいも掘り体験 有料100円 ・ 落花生掘り体験 有料100円 ・ イモふかしサービス ・ 豚汁サービス ・ なたね油搾り・脱穀体験 ・ 古代米脱穀・とうみ体験 ・ ハチミツ搾り体験 ・ クワガタぐんまちゃんと記念撮影 ・ クラフト体験、探検ツアー、ふれあいコーナー、温室ガイド、自然体験、映像シアター、昆虫おもしろ講座
友の会イベント	<p>8月7日(日)友の会講演会「おちばのしたをのぞいてみたら」</p> <p>8月20日(土)「みんなでカブトムシを育てよう」</p> <p>9月10日(土)里山文化活動「かかし作り」、交流会「流しそうめん」</p> <p>11月12日(土)森の調査隊「カブトムシ幼虫調査」・交流会「芋煮会」</p> <p>12月4日(日)昆虫調査会「オオムラサキ越冬幼虫調査」</p>

	12月23日(金)桜植樹 1月21日(土)交流会「もちつき会」 2月18日(土)環境整備活動「落ち葉掻き」・交流会「すいとん会」 3月10日(土)交流会「お汁粉会」
ボランティア自主活動	・布の絵本作成・・・むしさんみっけの会「はじめての虫さがし」(11.3 ~6 第7回手作り布の絵本全国コンクール審査委員賞受賞) ・写真クラブ・・・昆虫観察館別館展示コーナー設置・展示(通年) ・かかし作り(9月) ・クリスマスツリー作り(11月) ・門松作り(12月) ・布おもちゃ作品展(1月)

(6) 講演会・講座

専門家による講演会や子どもたちに人気のカブトムシ・クワガタムシの飼育講座を行いました。

名 称	内 容
講演会	講 師：皆越ようせい氏 演 題：「おちばのしたをのぞいたら」 開催日時：8月7日(日)13:00～ 内 容：ダンゴムシや土の中の生き物など、足下の小さな命に向き合ってきたカメラマンの楽しい話。 共 催：ぐんま昆虫の森友の会
カブトムシ飼育講座 (幼虫プレゼント)	スライドと実物を見せながら、上手な飼い方を解説。受講者には幼虫をプレゼントした。定員30組。有料100円。 日時：5月4日(水)11:00～11:30。参加者40組130名。 5月8日(日)11:00～11:30。参加者39組137名。 場所：映像ホール
カブトムシ飼育講座 (卵プレゼント)	スライドと実物を見せながら、上手な飼い方を解説。受講者には卵をプレゼントした。定員30組。有料100円。 日時：7月31日(日)11:00～11:30。参加者36組132名。 8月7日(日)11:00～11:30。参加者35組122名。 8月13日(日)11:00～11:30。参加者43組158名。 場所：映像ホール
クワガタ飼育講座 (幼虫プレゼント)	スライドと実物(幼虫や蛹室)を見せながら、マット替えの時期など上手な飼い方を解説。受講者には幼虫をプレゼントした。 定員30組。有料200円。 日時：10月29日(土)11:00～11:30。「ノギリクワガタ」参加者20組68名。 10月30日(日)11:00～11:30。「ヒラクワガタ」参加者30組85名。

	11月6日(日)11:00~11:30。「ノギリウガタ」参加者38組126名。 場所：映像ホール
--	---

(7) 企画展等

期 間	テ ー マ	内 容
3月5日～5月15日	「虫たちの季節がやってきた！ (早春編)」【季節展】	春から活動をはじめる昆虫(春の蝶、テントウムシ、ミツバチ)を紹介する。
5月17日～7月3日	「虫たちの季節がやってきた！ (初夏編)」【季節展】	オムシの幼虫やオブリミなど葉っぱを食べる昆虫やホタルを紹介する。
7月9日～8月28日	「ダンゴムシ」【企画展】	子供たちの人気者「ダンゴムシ」の不思議な世界を紹介する。
9月3日～10月30日	「秋の野山の昆虫展vol.6」 【季節展】	秋の鳴く虫の生態展示と文化史の展示
11月5日～12月25日	第6回「虫の絵」作品展 【特別展】	県内の小学生等の描いた昆虫画(入選作品)の展示
24年1月6日～2月26日	「昆虫たちの冬越し展vol.6」 【季節展】	四季のある日本の里山で冬越しする昆虫たちを展示
24年1月6日～2月26日	「フォトコンテスト作品展」 【特別展】	身近な自然に住む昆虫や人と生きもののふれあいの写真を公募して展示
3月3日～5月6日	「虫たちの季節がやってきた！ (早春編)」【季節展】	春から活動をはじめる昆虫(春の蝶、テントウムシ、ミツバチ)を紹介する。

(8) 広報活動<平成23年度>

上電デコトレイン(昆虫の森号)の運行延長(3/6～5/9)(当初予定は23年3月6日～4月12日)
 県内の小学校・近隣保育園・幼稚園へGWチラシ配布
 ぐんま昆虫の森in銀座(ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」7/12～13)
 ぐんままるごと体験デーIN赤坂サカス(7/24)
 浦安マンションカブトムシ講座(8/7)
 サイエンスウィーク展示(生涯学習センター7/26～8/24)
 NHKラジオ夏休み子ども科学電話相談園長出演(7回)
 NHKテレビ「爆問学問+」園長出演(8/4)
 県庁31階観光物産課展示室(8/9～10/3)
 ぐんまのグルメ大集合(華蔵寺公園)(9/17～19)
 まちなかキャンパス(広瀬川美術館)(10/1)

(9) その他

イベントナビ年2回発行 「秋冬」「春夏」(印刷発注)・・・県内小学校1～2年生全員及び
埼玉北部・栃木西部の主な市教委及び小学校に配布、平成24年度年1回に変更

季刊「昆虫の森」年4回発行(印刷発注)・・・関係機関配布、ショップ販売、平成24年度年
2回に変更

利用ガイド(施設パンフレット、印刷発注)・・・来園者配布

プログラム案内(印刷機対応)・・・来園者配布

学校利用の手びき(印刷発注)・・・学校配布

(参考3)

【昆虫の森】歳入・歳出予算額、決算額推移

区 分		20年度	21年度	22年度	23年度	
昆 虫 の 森	当 初 予 算 額	歳 出	420,095	329,662	290,128	259,740
		人件費	151,817	133,957	116,097	107,167
		事業費	268,278	195,705	174,031	152,573
		歳 入	15,816	17,427	14,205	15,005
		うち、入園料収入	14,230	15,100	12,325	13,125
		収支差	404,279	312,235	275,923	244,735
		対前年収支改善		92,044	36,312	31,188
		改善額計			128,356	159,544
	決 算 額	歳 出	396,785	306,384	268,123	
		人件費	140,025	118,497	99,921	
		事業費	256,760	187,887	168,202	
		歳 入	13,936	17,017	16,483	
		うち、入園料収入	11,648	14,640	13,659	
		収支差	382,849	289,367	251,640	
		対前年収支改善		93,482	37,727	
改善額計				131,209		